

## 第 37 回 認定看護管理者教育課程ファーストレベル募集要項

### (1) 目 的

- ①看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を修得する。
- ②看護を提供するための組織化並びにその運営の責任の一端を担うために必要な知識・技術・態度を修得する。
- ③組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力を高める。

### (2) 主 催

公益社団法人千葉県看護協会

### (3) 開催場所

千葉県看護会館 千葉県美浜区新港 249-4 電話 043-245-1980

### (4) 開催期間

平成 30 年 6 月 15 日(金) ～ 7 月 27 日(金) (28 日間)

(講師の都合等により、土・日曜日に実施する場合もある)

修了証明書授与式 平成 30 年 10 月 12 日(金)

### (5) 研修時間 9 : 30～16 : 15

### (6) 受講要件

以下のすべての要件を満たす者

- ①日本国の看護師免許を有する者
- ②看護師免許を取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者
- ③管理的業務に関心があり、管理的業務に従事することを期待されている者

### (7) 定 員 80 名

### (8) 応募方法

申込書類は、ホームページ 参照

#### ①認定看護管理者教育課程申込書、勤務証明書

(様式 3-①)(様式 3-②)(様式 3-③)、各A4 サイズで提出する。

#### ②認定看護管理者教育課程応募書類チェックリスト(様式 3-④)

③前年度ファーストレベル未履修教科目のある者は履修教科目を証明する「履修カード」の写しを提出する。

④返信用レターパック(360 円)1 枚 (受講申込者本人が受け取れる宛先を記載のこと)

### (9) 申込期間

平成 30 年 3 月 26 日(月)～ 4 月 8 日(日) 必着 (郵送申込のみ受付)

\*封筒には「認定看護管理者教育課程申込書類在中」と朱書きしてください。

\*申込書に不備がある場合は受理せず返却となります。不備箇所を訂正の上、指定の期日までに再度申込みください。

(10) 選 考

- ①受講要件を満たしていること
- ②申込書に不備がないこと
- ③受講動機と学習課題が明確に記載されていること

受講動機と学習課題についての評価基準

評価項目	評価の視点
内 容	1. 受講動機が明確である
	2. 看護管理に関連した学習課題を持っている
	3. 看護現場の問題を捉え分析している
	4. 論旨が一貫している
文章構成	1. 文法上の誤りがなく冗長でない
	2. 誤字、脱字がない
	3. 段落、改行が適切である

(11) 選考方法

上記基準を基に認定看護管理者教育課程運営委員会で審議の上決定する。

※受講決定後に受講者を同一施設・事業所内で交代することは認めない。

(12) 受講決定通知

通知書は平成 30 年 5 月初旬に送付する。

(13) 研修内容

カリキュラムは【別表 1】を参照 (150 時間)

(14) 修了要件

下記の要件を満たすこと

- ①各教科目の所定の時間数の 5 分の 4 以上出席していること。
- ②全教科目の評価はレポートで行う。

レポートは「A」「B」「C」「D」の 4 段階で評価するが、全て「C」以上であること。

(15) 修了証明書

認定看護管理者教育課程運営委員会において修了審査し、公益社団法人千葉県看護協会長名で交付する。

(16) 費 用

	全教科目履修者		未履修教科目履修者	
	会員	非会員	会員	非会員
受 講 料	150,000 円	250,000 円	1時間 1,000 円	1時間 2,000 円
	修了審査料、教材費等は上記に含まれる			

※未履修教科目:教科目単位での受講を要する。教科目の講義時間は 15 または 30 時間である。

未履修教科目は原則として当該受講年度から 1 年以内に終了すること。

※教科目レポートの 再審査料 5,000 円

(その他テキスト代 実費)

【教育目的】				
1.看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を修得する。 2.看護を提供するための組織化並びにその運営責任の一端を担うために必要な知識・技術・態度を修得する。 3.組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力を高める。				
教科目	ねらい	単元	単元の内容	時間
看護管理概論	1. 看護管理に必要な知識体系を学び、看護管理への活用を理解する。 2. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察する。	1) 看護管理の概要 2) 看護管理に必要な基礎知識 3) 看護管理者の役割と活動 4) 労働者として学ぶ労務管理の基礎知識	・看護管理の歴史 ・看護管理の定義 ・看護管理過程、機能、PDCAサイクル ・組織の成り立ちと構造 ・システム論 ・看護管理者の活動の動向 ・看護管理者の役割 ・認定看護管理者の活動役割・機能 ・雇用契約 ・雇用形態 ・勤務時間 ・勤務体制 ・労働時間管理 ・健康管理(メンタルヘルス含む) ・賃金体系 ・ワークライフバランス ・ハラスメント等	15
看護専門職論	1. 拡大・変化する看護専門職の機能と活動範囲を予測し、看護実践の改善に向け考察する。 2. 看護職の自律性と責務を理解する。 3. 看護に関連する法律や制度の変化を捉え、看護管理の視点で変化の意識や適応を理解する。	1) 看護専門職の役割と機能 2) 看護実践における倫理 3) 看護の社会的責務と法的根拠	・看護専門職の自律性と責務 ・看護業務の行動指針(看護業務基準、業務遂行基準、職務規程) ・看護専門職としてのキャリア発達 ・看護基礎教育制度と継続教育 ・看護専門職の動向 ・専門看護師、認定看護師、特定行為研修終了者の役割・機能 ・看護者の倫理綱領 ・対象の権利と人権擁護 ・看護実践における倫理的問題の把握と意思決定 看護関連法規 ・保健師助産師看護師法 ・看護師等の人材確保に関する法律 ・医療法をはじめ、保健医療福祉に関する法律 ・医療保健福祉関連職種に関する法律 等	30
ヘルスケアシステム論	1. ヘルスケアシステムの構造と現状、保健医療福祉制度を理解する。 2. 保健医療福祉制度の変化が看護管理に与える影響を理解する。	1) 我が国におけるヘルスケアシステムの構造 2) 保健医療福祉の動向	・医療保険制度、診療報酬、看護活動の診療報酬上の評価 ・介護保険制度、介護報酬、看護活動の介護報酬上の評価 ・社会保障制度 ・国民医療費と医業に関する費用 ・保健医療福祉の動向 ・地域医療構想 ・保健医療福祉のニーズと政策 ・保健医療福祉関連職種の理解と活動の場	15
看護サービス提供論	1. 看護サービスの基本的概念を理解する。 2. 看護サービスの対象となる人々の権利を尊重した、看護サービスの提供過程を理解する。 3. 安全を保障しながらより質の高い看護サービスを提供する方法を理解する。 4. 看護サービス提供上の問題を論理的に解決する思考を学ぶ。	1) 看護サービスの概要 2) 問題解決 3) 看護サービスの質管理	・サービスとは ・看護サービスの概念 ・看護ケア提供方式 ・論理的思考 ・問題解決思考 ・問題解決過程 ・看護サービスの質評価と改善 ・看護サービスの安全管理 ・看護サービスと記録	30
グループマネジメント	1. 組織集団の基本概念、集団の力動的諸機能を理解する。 2. 看護チームにおけるリーダーの役割、医療チームにおける看護の役割を理解し、連携・協働のあり方を学ぶ。 3. 組織目的の達成に向けてメンバーが行動を取れるように諸理論の活用を考察する。	1) グループマネジメントの基礎理論 2) 看護チームのマネジメント 3) チーム医療と連携	・リーダーシップとメンバーシップ ・集団の基本概念 ・集団力学(グループダイナミクス) ・人間関係論 ・コミュニケーション ・アサーティヴネス ・看護業務の割り当て ・権限移譲 ・チーム医療と看護の専門性 ・チーム医療における看護の役割 ・カンファレンスの運営、ファシリテーション 演習例として、カンファレンスにおける事例紹介、効果的なプレゼンテーションの方法 等	30

人材育成論	1. 人材育成のための基本的な概念を理解する。 2. 現場(看護単位)における後輩育成や指導方法を理解する。	1) 人材育成の基礎知識	・成人学習の考え方 ・新人教育と社会化 ・役割理論 ・動機づけ理論	15
		2) 人材育成の方法	・OJT ・コーチング、ティーチング ・メンタルサポート ・看護単位における研修プログラムの企画と運営 ・実習支援 演習例として、自部署の研修プログラムの確認と実際の運営への活用	
看護情報論	1. 情報の概念と特徴を理解し、倫理的な取り扱いを学ぶ。 2. 患者ケアに役立ち、看護の質改善に資する情報管理のあり方を学ぶ。	1) 医療・看護情報の概要	・医療情報とは ・医療情報の活用 ・看護における情報の種類と特徴 ・看護用語の標準化	15
		2) 看護情報の倫理的側面と対応	・患者権利と情報開示 ・情報セキュリティ ・看護者の守秘義務対策と実際 ・個人情報保護への対策と実際	
		3) 看護実践に活かす情報管理	・情報検索・収集 ・看護情報の記録 ・看護の評価・改善のための情報活用 ・根拠に基づく看護実践のための情報管理 ・看護管理への活用 ・電子情報システムの活用	

合計 150時間

看護管理概論	15時間
看護専門職論	30時間
ヘルスケアシステム論	15時間
看護サービス提供論	30時間
グループマネジメント	30時間
人材育成論	15時間
看護情報論	15時間
総時間数	150時間

○演習について

- ・教育機関の裁量により演習時間を設定する。
- ただし、総時間の1/5に該当する30時間を上限の目安とする。

## 平成 30 年度 認定看護管理者教育課程申込書①

記載不備がある場合は、受理せず返却となります。  
太枠内のすべての項目に記入してください。  
□には、該当項目に✓(チェック)をつけてください。

※協会使用欄

受講希望 教育課程	<input type="checkbox"/> ファーストレベル
	<input type="checkbox"/> セカンドレベル

受付番号	受講番号

申込日：平成 30 年 月 日

フリガナ	性別	生年月日					
氏名	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成	年	月	日		
職 種		会員区分	千葉県看護協会会員番号				
<input type="checkbox"/> 看護師	<input type="checkbox"/> 助産師	<input type="checkbox"/> 保健師	<input type="checkbox"/> 千葉県 会員				
自 宅	〒	—	<input type="checkbox"/> 非会員	日本看護協会会員番号			
	TEL :		<input type="checkbox"/> 他県 会員				
所属施設名	(正式名称で記載)						

### 受講要件

【必須】 希望する教育課程の受講要件で該当する項目すべてに、✓ をつけてください。

#### ファーストレベル

- 日本国の看護師免許を有するもの
- 看護師免許を取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者（准看護師経験は含まない）
- 管理的業務に関心があり、管理的業務に従事することを期待されている者

#### セカンドレベル

- 日本国の看護師免許を有するもの
- 看護師免許を取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者（准看護師経験は含まない）

以下の項目は、いずれかに✓をつけ、申込書と併せて必要書類を提出してください。

必要書類	
<input type="checkbox"/> 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者	修了証明書の写し
<input type="checkbox"/> 看護部長相当の職位にある者	勤務証明書の職位 <様式 3-③>
<input type="checkbox"/> 副看護部長相当の職位に 1 年以上就いている者	

平成 29 年度に未履修教科目がある方のみ、  
未履修教科目名を記載してください。

- 個人情報の取扱いについて、当協会の個人情報保護規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。申込に関して提出していただく個人情報は研修に伴う書類作成・発送にのみ用い、この利用範囲を超えて取扱うことはいたしません。

公益社団法人千葉県看護協会 教育部教育課 〒261-0002 千葉市美浜区新港 249-4  
TEL : 043-245-1744 (代表) TEL : 043-245-1980 (教育部直通) FAX : 043-248-7246

## 平成 30 年度 認定看護管理者教育課程申込書②

受講申込者本人が記入してください。  
記載の不備がある場合は、受理せず返却となります。

氏名

この研修における、あなたの受講動機を書いてください。

認定看護管理者教育課程の目的に沿った、あなたの学習課題を書いてください。

# 勤務証明書

平成 30 年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_

## 【在職期間】

記載上の注意：①申込者全員が提出して下さい。

②1枚で「実務経験5年以上」が証明できない場合は、複数枚提出して下さい。

上記の者は当施設において、以下のとおり勤務している／したことを証明します。

( 昭和・平成 ) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月より

( 昭和・平成 ) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月まで 通算 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月

## 【職 位】

記載上の注意：セカンドレベル申込者で「看護部長相当の職位にある者」または「副看護部長相当の職位に1年以上就いている者」を受講要件とする場合にのみ記載して下さい。

上記の者は当施設において、以下の職位である／あったことを証明します。

( 昭和・平成 ) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月より

( 昭和・平成 ) \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月まで 職位 \_\_\_\_\_

施設名：

所在地：

施設長名：

または看護管理者：

印

## 平成 30 年度 認定看護管理者教育課程 応募書類チェックリスト

【重要】受講要件にかかわるため、漏れのないように記入・確認（チェック欄に✓）してください。

<b>受講希望 教育課程</b>	<input type="checkbox"/> ファーストレベル	チェック日：平成 30 年      月      日
	<input type="checkbox"/> セカンドレベル	申込者 氏 名

1. 応募資格について	チェック欄
(1) 受講要件を満たしていますか。<様式 3-①>参照	

2. 申込書について	
(1) 記載漏れ、チェック漏れはありませんか。	
(2) 教育課程の目的に沿った学習課題を明確に記載しましたか。<様式 3-②>	

3. 同封書類について	
3-1. ファーストレベル・セカンドレベル共通	
(1) 申込書はA4サイズですか。<様式 3-①②③④>	
(2) 返信用レターパック（360円）1枚を同封しましたか。	
(3) 返信用レターパックには、受講申込者本人が受け取れる宛先を記載しましたか。	
(4) 応募書類チェックリストを同封しましたか。<様式 3-④>	
(5) 前年度未履修教科目がある方は、履修カードの写しを同封しましたか。	

3-2. セカンドレベルのみ	
(1) セカンドレベルの受講要件を満たすための必要書類は同封しましたか。	

4. 送付について	
(1) 封筒には認定看護管理者教育課程申込書類在中と朱書きしましたか。	

同封書類

ファーストレベル	セカンドレベル
① 申込書①<様式 3-①>	① 申込書①<様式 3-①>
② 申込書②（受講動機・学習課題）<様式 3-②>	② 申込書②（受講動機・学習課題）<様式 3-②>
③ 勤務証明書<様式 3-③>	③ 勤務証明書<様式 3-③>
④ 応募書類チェックリスト<様式 3-④>	④ 応募書類チェックリスト<様式 3-④>
⑤ 返信用レターパック（360円）	⑤ 修了証明書の写し
⑥（未履修者のみ）履修カードの写し	⑥ 返信用レターパック（360円）
	⑦（未履修者のみ）履修カードの写し